

弦楽が奏でる四重の音色を堪能

レスパス弦楽四重奏



レスパス弦楽四重奏による演奏

♪ 児童も共演、合唱で心をついに ♪

青少年劇場（町教育委員会など主催）は6月1日、葛巻小体育館で開催され、町内の小学生と保育園児ら約230人が「レスパス弦楽四重奏」を鑑賞しました。

この劇場は、優れた舞台芸術を鑑賞することで、子どもの豊かな心を育むことを目的に毎年実施されています。

今年は、バイオリン、ピアノ、チェロの演奏家4人による弦楽四重奏コンサートが行われました。「ラズモフスキー第3番」や「皇帝」などのクラシックの曲を披露しながら、各楽器の音や演奏法などの特徴を紹介。子どもたちは、それぞれの弦楽器が奏でる音色に、目を輝かせながら聴き入っていました。

児童との共演コーナーでは、ピアノ伴奏も加わり「翼をください」を来場者全員で合唱。美しいハーモニーが会場いっぱい響き渡り、町内の児童が心一つにしました。

町民総合体育大会が開幕

江刈A、北部が同点で首位

第32回町民総合体育大会が6月5日に開幕し、6地区の体育振興会対抗による熱戦がスタートしました。

総合運動公園多目的グラウンドでは男子の390歳ソフトボール競技、社会体育館では女子のファミリーバレーボールが行われ、競技の結果は次のとおりです。

- ▼390歳ソフトボール
- ①北部 ②中部A ③江刈A
- ▼ファミリーバレーボール
- 【一部/40歳未満】
- ①江刈A ②西部 ③中部A
- 【2部/40歳以上】
- ①中部B ②北部 ③西部
- ▼中間総合成績 ①江刈A(26点) ②北部(26点) ③西部(24点)



⑥好天の下、熱戦が繰り広げられた男子の390歳ソフトボール競技（総合運動公園）
⑦好プレー、珍プレーが続出した女子のファミリーバレーボール競技（社会体育館）



「先客だ ストープ前の 猫二匹」 大久保 柚希さん（葛巻中3年）の作品

【特集】希望郷いわて国体

炬火の名称を

募集します



▶炬火イベントで使用するトーチ。県内全ての市町村名が刻まれている

【問い合わせ・応募先】教育委員会
☎66-2111 内線275 / FAX 66-4389
E-mail d034@town.kuzumaki.iwate.jp

希望郷いわて国体の開催にあたり、葛巻町において採火される「葛巻町の火」の名称（炬火名）を募集します。

■募集期間

7月1日（金）～29日（金）

■応募資格 町内に在住または勤務、通学している方は規格など

▽町の魅力（歴史や文化、自然など）をPRするとともに、国体の機運を醸成するもの。

▽炬火名は「○○の火」とし、文字数は20文字以内とする。「の火」も20文字を含む）
▽応募数は1人1点とし、未

発表のものに限りません。

■応募方法 作品名および作品名の由来（理由）、応募者の住所、氏名、年齢、性別、連絡先を記入の上、郵送、FAX、メールなどにより教育委員会へ提出してください。

■選考 町実行委員会において審査し、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定するとともに、最優秀賞は、葛巻町の炬火名として採用します。

■表彰 入賞者は、8月16日に葛巻小グラウンドで開催される「くずまき夏まつり」において、記念品を贈呈し表彰します。

炬火とは？

オリンピックの聖火にあたるもので、希望郷いわて国体の開催期間中、選手たちを守るシンボルとなります。

【これまでの炬火名】

- ▽平成26年/長崎国体 「集いはばたけ長崎の炎」
- ▽平成27年/和歌山国体 「輝け紀の国希望の火」
- ▽平成28年/岩手国体 「希望郷いわての火」

炬火イベント

希望郷いわて国体に向けて、県内全ての市町村で炬火イベントが開催されます。

昭和45年の岩手国体では、1箇所だけ炬火を採火し、トーチに灯して県内全市町村をリレーする「全県リレー」が行われました。

今回は、県内33市町村それぞれが、地域の特色を生かした方法で採火し、10月1日に北上市で開催される国体総合開会式において1つに集め、「希望郷いわての火」として炬火台に点火する「集火方式」で行われます。

公民館
図書室から

本の紹介

●開館時間：午前8時30分～午後7時
●休館日：年末年始



『いちにちパンダ』 大塚 健太 作
パンダが人気の動物園。ある日パンダが風邪をひいてしまいました。さあ大変！困った飼育員は、トラに「いちにちパンダになってくれ」と頼みます。困ったトラに飼育員は、ある物を差し出します。さ～て、どうなるのでしょうか？



『暮らしの手帖とわたし』 大橋 鏡子 作
1948年9月の創刊以来、故花森安治とともに、「暮らしの手帖」を作り続けてきた大橋鏡子。制作の過程の中で書き留めてきた思い出を一冊にまとめました。手帳が生まれたきっかけ、成長していく様子など、初めて明かす思いと、とっておきの話が満載の一冊です。



『ずっとずっとだいすきだよ』 ハンス・ウィルヘルム 作
エルフィーと僕は、一緒に大きくなった。年月が経って、僕の背が伸びる一方で、愛するエルフィーは太って動作も鈍くなっていった。ある朝、目が覚めるとエルフィーが死んでいた。深い悲しみに暮れながらも、僕には、一つ、慰めがあった。それは…。